



道路の改良による失業救済

竝に地方産業の開発

山崎 龜吉

地方産業の開発竝に失業救済の方法としては、幾多の政策があるであらうが、私は、その一つの方法として『道路の改良』を挙げたいと思ふ。

近頃吾が國の大都市は殆んど例外なしに道路の改良を實行し五大都市以外の地方都市に到るまで、その許す財源内に於ては極力道路改良に力を盡してゐる有様である。

これ等の現象は、單に流行的に都市の體裁を備へると云ふ形式的な理由からではなく、更に深い人類的、社會的な理由から生れたものであつて、良好なる道路は人心に爽快な氣分を與へ、市民の健康を増進し、又物質的には市民の生活費を低下し、物資の運賃を低減するものである。

(イ) その直接經濟上の利益としては

路上運搬費の減少

農産物耕作可能性の擴大

市場選擇の範圍の擴大

生産物を市場に搬出する時期の選擇の容易及び自在化

地理的竝に氣候狀態の相異せる生産物市場の均一簡易化

商業取引の平均化

等であつて、

(ロ) その間接的社會的利益としては

村落都市間の交通を可能ならしめ、生活の便宜を直接にし、國民の社會的知識的進歩を誘發する等である。

斯くの如く道路の改良による利益は、直接又は間接に甚だ多いのであるが、現在改良されつゝあるは、大都會の市街地又は其の隣接地の一小部分に過ぎずして、地方町村の大部分は、未だに粗惡なる道路に苦しみつゝあると云ふ状態である。

勿論、人間の歩く道路を、悉く舗道にせよと云ふことは國家の財政上、容易に出來得べきことではないが、然し國家生活の目標が國民の經濟生活の充實に在ると云ふことが正しい限り、可及的に道路を

改良して、相互にその經濟的利益を享受すべきではないかと考へるのである。

で、私は先づ國道及び府縣道の改良に着手することが刻下の急務であり、又斯くすることによつて、地方産業の開發が出來、併せて失業救済も出來るであらうと確信するものである。

然らば如何なる方法によつて此の計畫を爲すか？今日の如く國庫窮迫のときに於て、斯の如き大工事を起すことは、事實上不可能ではないか？と云ふ質問もあるであらうが、次に述ぶるが如き方法に於ては、決して不能事ではあるまいと考へる。

私は、その大要を次に述べやう。

一 財 源

私は此を公債に求める。

國道の改良を完成する爲めには、新に國債を起し、府縣道の改良工事には、地方債を以てする。公債悲觀論者は、或は地方財政の萎縮、衰微を指摘して、公債募集に反對するであらうが、國道改良の完成せる曉に於ける國民的利益の大なるを思はゞ、斯る悲觀論は一蹴さるべきであると思ふ。

二 經費の分擔

各府縣は、原則として、各自府縣領域内の道路工事に要する一切の費用を負擔する。但し國道には國費を補助し、國家は總括的にこれを統制し監督する。又各府縣は優先的に各自領内の失業者を使用し、人員不足の場合のみ他國の勞働者を使用するのである。只茲に問題となるは、各府縣はその地

勢上又管轄區域上負擔道路の里程に距離上の相違が出来、土木工事上難易の差を生ずるであらうが、これより生ずるであらう費用上の不公平は、課税の技術的方面によつて公平化せらるゝであらうと思ふ。

三 公債の償還方法。

私は大體次の二つの方法によつて漸次的に償還し得ると思ふ。

一 受益税

これは道路の改良により新に發展するであらう商店街、住宅街の利用者及び地價の高騰により不勞利益を受くる地主階級より徴收する。

二 自動車通行税

國道及び府縣道の改良によつて著しく利益を受くるものは自動車にして、今日まで旅客、貨物の輸送は殆んど軌道機關により獨占せられて來たものが、新に自動車輸送に轉化せらるゝ結果となり、自動車輸送業者は莫大な利益を受くることになる。

課税の基準は、ガソリンの消費量にするか積載貨物量にするかは課税技術の問題であつて、自動車業者の營業を壓迫せない範圍に止まるべきであらう。

甚だ簡略ではあるが、以上私は『道路改良』の具體的方法を述べた。次に私は無軌道運送が軌道運送に優る點を概説しやうと思ふ。

よく聞くことであるが、國道改良工事よりは寧ろ地方鐵道を布敷し延長した方がいゝと云ふ説もある。自動車の無い時代だつたら、この説も大にいゝが、自動車の發達した今日では、あまり感心した説でもないと思ふ。

鐵道は元來が固定的なもので、便利な様で便利でない。その上その布敷には莫大な經費がかかる。恐らくその費用の點に於ては『道路改良』事業の數倍を必要とするであらう。

殊に近距離の貨物輸送急を要する貨物の運搬腐敗し易き食糧品の輸送等に於ては、軌道運送の缺點が明かに指示せられてゐる。

X

X

X

之を要するに『道路改良完成』の曉には、本州を南北に貫く國道によつて、農産物その他の生産物が現在よりも遙かに合理的に、經濟的に迅速に輸送交易せられ、生産費、運賃物價等にも著しき影響が現はれ、國民の經濟生活上に利する所甚大であると思ふ。

殊に現在、吾々が軌道運送によつて蒙りつゝある諸種の缺陷は、自動車輸送によつて除去せらるゝであらうことも明かである。

又府縣市町村道の支脈道路によつて地方産業が刺戟せられ、生産活動が活潑になり、活氣を呈すべきは疑を容れざるところであつて、此の大工事によつて、多數の失業労働者が救済さるゝことも又自明である。